

おすすめ図書！

- ①雨の名前 高橋 順子 文
- ②すみれおばあちゃんのひみつ 植垣 歩子 作

梅雨の花といえばあじさいです。あじさいにはたくさんのお名前があります。よひら、ハッセンカ、シチヘンゲなど、その多さからあじさいが愛されてきた歴史を物語っているかのようです。

今回は、梅雨にちなんで雨のさまざまな名前と雨の中での素敵な出会いを書いた本をご紹介します。

【あらすじ】

①雨の名前

日本は世界的にも雨が深い地域のため、文学の中で雨をさまざまな名前で表現しています。

「万葉集」では、雨を小雨、時雨、村雨、氷雨などで表しています。

『雨の名前』では、数ある日本の雨の表現から422語を抜粋して、美しい雨の写真、詩、エッセイと共に紹介しています。



②すみれおばあちゃんのひみつ
縫物上手のすみれおばあちゃんは、このごろ目が弱くなり、針に糸を通すのが難しくなってきました。そこで、いつも家の前を通りかかってくる人に頼んでいます。ある日、外が雨で誰も通らないため諦めかけていると、小さな動物たちの影が。個々の動物たちの表情、雨の強弱による全体の雰囲気、そして雨の日にあった出来事など優しい気持ちになれる絵本です。



7月図書館カレンダー

2021年							7月Jul		
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
				1	2	3	4	5	6
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
					30	31			

【お知らせ】

◎新型コロナウイルス感染症の影響により変更が生じる場合があります。

■休館日：毎週月曜日、図書整理日

図書館ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶



☎ 図書館 ☎ 029-897-0647



歴史博物館と地域の活性化

市の魅力はたくさんありますが、最近多くの方のハートを掴んでいるのが「歴史」です。

歴史はどの地域にもあるものではなく、同じものを創ることもできないため、それぞれの地域の特徴となります。さらに、歴史は人間のすべての営みによって形成されたものなので、生活や仕事、芸術、医療など歴史による地域の特徴は、多岐にわたります。そのため、地域の歴史はあらゆる分野に活かすことができることから、全国各地で地域の活性化に利用されています。

街道の歴史的景観や農村・漁村の景観は「まちづくり」、お寺や神社、史跡などは「観光」、伝統的な食文化や産物は「郷土食や土産」となり、各地で歴史資源が多く利用されています。

歴史博物館では、すでに知られているまたは周知されている歴史資源と、新たに発見された歴史資源を、地域活性化につなげる事業を常に行っています。令和2年度は、霞ヶ浦を代表する「鯉」や幕末志士の「伊東甲子太郎」、江戸時代の名医「金子寿仙」にスポットを当て、多くのマスコミに取り上げられました。結果、茨城県民だけではなく京都の観光客へも影響を及ぼすことに成功しました。



霞ヶ浦を代表する「鯉」

食べては絶品、泳ぐ姿は絵になり、滝登りとして縁起物となる鯉。人間と関わる歴史や文化は深く、これから多くの地域活性化の可能性を持ちます。

幕末志士の「伊東甲子太郎」

新選組の小説やドラマに登場する人物。本市の生家を記した史料の新発見と地元有志による顕彰碑建立が話題となり、その名声は全国に轟きました。



江戸時代の名医「金子寿仙」

本市に誕生した名医と、その教育を受けた医学者の活躍により、幕末、明治時代の感染症治療と対策が行われたことを紹介しました。

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017



あじさい 土曜名画座

- ▶日時 7月3日 日午後2時 ※午後1時半受付・開場
- ▶定員 先着20人
- ▶場所 あじさい館 [視聴覚室]
- ▶料金 100円
- ☎ 霞ヶ浦中地区公民館 ☎ 029-897-0564

【鑑賞の注意点】
マスクは必ず着用してください。

『続・深夜食堂』

出演 小林薫 [上映時間108分]

【ストーリー】

路地裏にひっそりとたたずむ深夜営業の“めしや”。ちょっとワケありな客が訪れては、マスターの作る懐かしい味に心の重荷を下ろし、胃袋と心を癒して明日への一歩を踏み出していく。

あじさい館ホール展示作品紹介

【7月は「彩友会」の作品展示】

あじさい館では、市内の文化団体などが作成した絵画や写真、陶芸、工芸品の芸術作品などを月替わりで展示しています。ぜひ、ご覧ください。

▶期間 7月6日 日～8月1日 日

☎ 生涯学習課 ☎ 029-897-0564

投稿作品

出島短歌会	投稿作品
真ん中を新入生にしすら三人庭を覗きあいつしゆく 「音読チャンピオン」になりしと告ぐ孫のピアノ練習弾ける わが生れし南の村の川岸に花みだれ咲く誕生日今日 人心変りやすきを分かれども愚痴こぼす人欲しい日もあり	仲谷香代子 葉師寺玲子 岡田恭子 名倉親子
湖を見下ろす高台で馬鈴薯を握る吹き上げてくる風は涼しく初夏の漂い 池江選手の花紅いに咲き初めて曇れる午後後の庭に立ちたり 石楠花の花紅いに咲き初めて曇れる午後後の庭に立ちたり 注射打つ一回目だが収束に役立っはずと晴天に打つ 膝痛を堪えて歩む散歩道これも修業か八十路の終に 大自然豊かな恵み与う主に感謝忘れて抗う怖さよ チューリップ「楊貴妃」の名を手に入れて バナナマに渦巻く鯛エイゆらり 蒼き空およぐ水面に鯉のほり	齊藤勝広 中島良平 石塚清 横井正子 活野はつ子 近藤善康 竹村啓子 関和代 いいだいさ
千代田俳句同好会 群れてみて揺れそれぞれに芽花かな 足音の低く重たし梅雨じりめり 朝刊のしつとり湿り梅雨に入る くろぐろと力の付きし茄子の苗 梅雨寒の居場所コーヒー香らせて	桜井愛子 桜井筑蛙 中島暉子 萩原初枝 福田妙子
紫陽花俳句会 元気です娘にメール柿若葉 五月雨の傘にこもるや子等の声 田植機はみどりの線を引いて行く 過疎地には芥子の花のみ風の中	久保庭悦子 田能幸雄 萩原とし子 福田宏通

投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。7月2日 日までに秘書広報課(〒315-8512 上土田461)へお願いします。※応募多数の場合は掲載されない場合がありますのでご了承ください。また、音声読み上げに対応するため、漢字にはふりがなの記載をお願いします。(内容を確認する場合がありますので、電話番号もご記載ください。)